

おしえて！

子どもたちにとって望ましい

教育環境の一層の充実を目指して

羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園適正配置計画

のなかみ

令和2年6月に羅臼町校長会・羅臼町教頭会・羅臼町社会教育委員の会等に諮問し、答申された内容を反映した。「羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園適正配置計画」が令和2年12月に教育委員会にて策定されました。
その内容について、ご説明いたします。

Q1：適正配置計画を作成した経緯は？

- 平成28年の羅臼町議会において、羅臼町長より「羅臼町立小学校の統廃合の検討の必要性について」の提案がありました。
平成30年に実施した公民館及び体育館の耐震診断の結果、平成31年の羅臼町議会で公民館の取り壊し決定の報告とほぼ同時期において「令和4年4月1日の統合を目指す」旨の提案があり、この提案を受け、教育委員会では平成31年度「羅臼町立小学校・羅臼町立幼稚園適正配置の在り方について」検討資料を作成し、7月23日より各町内会、各小学校区PTA、各幼稚園PTAへの説明をしてきたところです。
今までの適正配置の取り組みを見ても、学校の統合ありきのような期間で適正配置計画が示され、それと同時期に検討・協議がなされてきたところです。本来、適正配置計画とは「子ども達にとって望ましい教育環境の一層の充実を目指して」羅臼町の子ども達の能力を最大限伸ばし、かつ、将来地域社会の一員としての基盤を育むために必要な規模や学習環境を検討した計画であり、必ずしも統廃合するための適正配置計画ではないことをご理解いただきたいと思います。学校の統合の在り方については、本計画に基づき、必要と判断した時期において、改めて地域住民の皆様と話し合いをしてまいりたいと考え、その判断の根拠となる計画を策定したところです。

Q2：適正配置計画はなぜ必要なのですか？

- 当町の適正配置計画は「子ども達にとって望ましい教育環境の一層の充実を目指して」町内の子ども達の能力を最大限伸ばし、かつ、将来地域社会の一員としての基盤を育むために必要な規模や学習環境を検討した計画です。
その上で、その時々子ども達を取り巻く環境の変化に対し、必要に応じて柔軟に対応できるよう、5年という期間を設定するとともに、人口減少による少子化に歯止めがかからない現在、「少子化に対応した適正配置計画について」教育委員会で策定することといたしました。

Q 3 : 小学校や幼稚園は統合されるのですか？

- 一般的に、小規模校も大規模校もそれぞれ良い面と悪い面があるといわれています。例えば、小規模校の良い面は、①子ども同士の信頼関係や相互理解が強くなる。②子ども一人ひとりに応じた指導がしやすい。③教職員と保護者との人間関係が密接になるなどとされ、悪い面は、①児童の序列に恒常化や役割の固定化が起きやすい。②切磋琢磨する機会が少なくなる。③少人数ゆえに不可能な活動や行事がある。

また、大規模校の良い面は、①児童が多くいることによって、人間性や社会性の育成に有効。②様々な教育場面において、切磋琢磨する中での成長が期待できる。③多くの教職員による指導体制の充実などとされ、悪い面は、①一人ひとりの児童の特性や状況把握に困難な場合がある。②児童の諸活動での参加機会が希薄になりやすい。③教職員の共通理解形成などに困難な場合があることなどされています。

これらのことなどを総合的に判断し、今回の適正配置計画の中では「当面は小学校2校、幼稚園2園を維持する」基本方針を定めました。

Q 4 : 統合の検討対象小学校と幼稚園はどこですか？

- 適正配置検討対象小学校は、羅臼小学校と春松小学校の2校です。適正配置検討対象幼稚園は、羅臼幼稚園と春松幼稚園です。今回の適正配置計画の中では「当面は小学校2校、幼稚園2園を維持する」と基本方針を定めました。ただし、当該地域において統廃合を望む意向がある場合には、統廃合に向けた協議を行うとしております。

Q 5 : 羅臼町が考える、子ども達にとって望ましい教育環境は？

- 学校教育は、学級、学年という枠組みの中で、集団を前提として成立する制度であり、この集団が持つ教育力をどう評価し生かしていくかを考えることはとても重要です。

集団の持つ教育力とは、子ども達が良い意味での競争心をもって切磋琢磨したり協力して何かを成し遂げる喜びを感じたり、時には友達と仲違いがあったり、更にそれを乗り越える経験などを通して、それぞれの発達段階に見合った自主性・主体性、更には社会性・協調性を会得させる内在的な力のことです。

当町の幼稚園・小学校適正配置を考えるにあたっては、この集団の持つ教育力を生かすための適正な規模の基準を設定し、見直しを進めることが必要です。

その結果、長い歴史と伝統をもち地域とともに歩んできた学校の統合を検討することは、地域に様々な影響を与える問題であり、効率性だけの安易な統合は避けなければなりません。現状を単に受け入れるだけではなく、新たな学校の創出を目指して、適正配置方策に取り組む決断が必要と考えます。

いずれにしても、実際の統合にあたっては小学校や幼稚園の状況を踏まえた地域との意見交換が最重要と考えています。

この適正配置計画を策定するにあたり、別冊で資料1、資料2を添付しております。

- 資料1では
 1. 羅臼町のめざす教育（子ども像）
 2. 適正配置計画策定の概要
 3. 羅臼町の教育課題
 4. 現状
 5. 適正規模の考え方と課題

- 資料2では
 1. 羅臼町の総人口と将来推計
 2. 羅臼町の年少人口と将来推計
 3. 令和2年度園児・児童・生徒数
 4. 各学校・幼稚園の現状
 5. 全国学力学習状況調査
 6. 学校平面図